

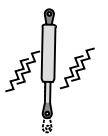
オイルダンパーについて

選定上の注意

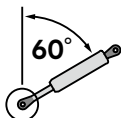
使用環境・使用方法などを十分考慮の上決定して下さい。
仕様、用途など不明な点はお問合わせ下さい。



故障を防ぐため、下記のような環境では使用しないで下さい。
・ロッドに錆が生じるような環境
・雨、高湿度、ゴミ、ほこり、ビニールが付着するような環境
・薬品雰囲気中



微振動・微振幅を与える環境では使用しないで下さい。
シールなどを傷め、製品寿命が短くなります。



オイルダンパーの取り付け位置を設定する際、向きを必ず確認して下さい。
ロッド側を下向きとし、垂直より 60°以上傾けないで下さい。
故障の原因となります。



オイルダンパーの仕様範囲を設定して下さい。
最大長以上に伸ばしたり、最小長以上に押し込んだりすると故障の原因となります。オイルダンパーのストローク以上に扉が開く場合、あらかじめ扉にストッパーなどを付けて下さい。最圧縮時、ロッド側取付部とロッドガイドの間に 10mm 程度の余裕を持たせてご使用下さい。

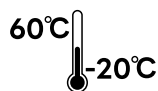


オイルダンパーに横荷重がかからないよう設定して下さい。
チューブ・ロッドを変形させたり、オイルダンパーに曲げ荷重・ネジレ・コジレをかけないで下さい。また、取手として使用しないで下さい。故障の原因となります。

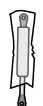
取り扱い上の注意

6ヵ月

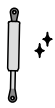
オイルダンパーを 6 ヶ月以上保管しないようにして下さい。
内部のオイルシールと O リングが粘着または損傷してしまう恐れがあります。また、初めてロッドを押し込む際、チューブ内の圧力が表示圧力を上回る恐れもあります。



製品温度は -20°C から 60°C の範囲内の環境で使用・保管して下さい。
周囲温度の変化に伴い荷重も変化します。



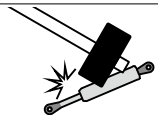
ビニール等の梱包材を取り外してからご利用下さい。
また、オイルダンパーを塗装しないで下さい。
梱包材や塗装材がロッドとシールに付着し入り込むことでシールが損傷し、オイル漏れを起こす原因となります。



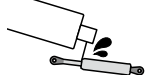
機械・建築工事・屋外などの作業環境で使用する場合、工事が完成してから取り付けて下さい。
オイルダンパーの 製品寿命と清潔さを確保します。



オイルダンパーは定期的に乾いた布で拭き、清潔な状態を維持して下さい。
オイルダンパーの 製品寿命と清潔さを確保します。

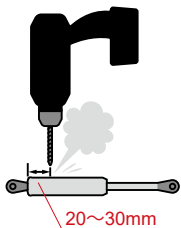


オイルダンパーに強い力を与えないで下さい。また、ロッドに傷をつけないで下さい。
落下させる、ぶつけるなどの衝撃を与えるとロッドの曲がりやチューブの歪みが生じ作動不良の原因となります。ロッドに傷をつけるとシールが損傷し、チューブ内のオイルが漏れて、荷重低下の原因となります。



注油をしないで下さい。
注油するとシールが損傷しチューブ内のオイルが漏れて、荷重低下の原因となります。

廃却上の注意



- ①オイルダンパーはボール盤に水平にしっかり固定します。
- ②チューブのブラケット側端面から 20 ～ 30mm の位置に 2 ～ 3mm のドリルで穴を開け、オイルを抜きます。
※内部オイルや切粉が飛散する恐れがあるため、必ず保護メガネをかけて作業して下さい。
- ③必ず廃却する前に、内部のオイルが抜けきっていることを確認してから廃却して下さい。



分解しないで下さい。
内部オイルが噴出するため、分解することは危険です。



廃却の際、火中に投じないで下さい。
火中に投じると高温によりシールやロッドガイドが軟化・破損し、チューブ内のオイルが噴出し危険です。